

みずほCustomer Desk Report 2016/10/14 号(As of 2016/10/13)

【昨日の市況概要】

[昨日の市況概要]					公示仲値	104.54
	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	USD/CHF	GBP/USD	AUD/USD
TKY 9:00AM	104.30	1.1011	114.86	0.9902	1.2189	0.7553
SYD-NY High	104.63	1.1058	115.12	0.9909	1.2274	0.7583
SYD-NY Low	103.34	1.0985	113.92	0.9859	1.2132	0.7506
NY 5:00 PM	103.72	1.1056	114.68	0.9861	1.2252	0.7569
USD/JPY Volatility 1M ATM (NY Close Lvl)			11.345/11.695	△25RR	1.658	Yen Call Over
NY DOW	18,098.94	▲ 45.26	債券市場	日本2年債	-0.2600	-
NASDAQ	5,213.33	▲ 25.69		日本10年債	-0.0560	-
S&P	2,132.55	▲ 6.63		米国2年債	0.8345	▲2.4bp
日経平均	16,774.24	▲ 65.76		米国5年債	1.2586	▲3.3bp
TOPIX	1,342.31	▲ 0.04		米国10年債	1.7411	▲2.8bp
シカゴ日経先物	16,805	▲195.00		独10年債	0.0380	▲2.9bp
ロンドンFT	6,977.74	▲46.27		英10年債	1.0240	▲1.9bp
DAX	10,414.07	▲109.00		豪10年債	2.2440	▲5.9bp
ハンセン指数	23,031.30	▲ 375.75	為替市況	USD/CNH	6.7342	0.0088
上海総合	3,061.35	2.85		ドルインデックス	97.52	▲0.45
USDJPY 3M Vol	11.58	0.18%	商品市況	CRB指数	189.144	1.08
USDJPY 6M Vol	11.39	0.10%		NY金	1,257.600	3.80
EURJPY 3M Vol	11.86	0.09%		WTI	50.440	0.26
EURJPY 6M Vol	11.99	0.11%		Dubai Spot	49.12	▲0.87

【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
10月13日	-	中 貿易収支	9月 \$41.99B	\$53.00B
	-	独 輸出/輸入(前年比)	9月 -10.0%/-1.9%	-3.3%/0.6%
15:00	中	CPI・確報値(前月比/前年比)	9月 0.1%/0.7%	0.1%/0.7%
21:30	米	輸入物価指数(前月比/前年比)	9月 0.1%/-1.1%	0.2%/-1.0%
21:30	米	新規失業保険申請件数	- 246K	253K
10月14日	1:15	米 ハーカー・フィラデルフィア連銀総裁講演	-	-

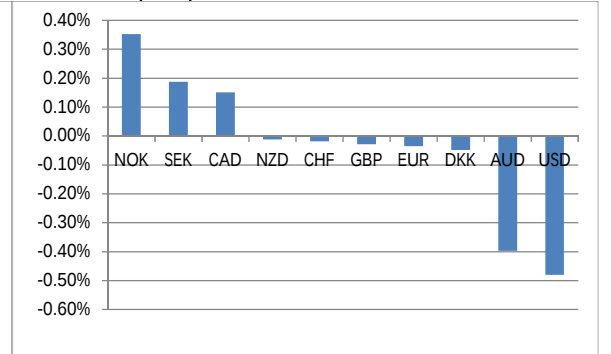
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
10月14日	8:50	日 対内・対外証券投資	-	-
	10:00	米 カシウカ・ミネアポリス連銀総裁講演	-	-
	10:30	中 CPI/PPI(前期比)	9月 1.6%/-0.3%	1.3%/-0.8%
	21:30	米 小売売上高(前月比)	9月 0.6%	-0.3%
	21:30	米 PPI(前月比/前年比)	9月 0.2%/0.6%	0.0%/0.0%
	21:30	米 PPIコア(前月比/前年比)	9月 0.1%/1.2%	0.1%/1.0%
	21:30	米 ローゼングレン・ボストン連銀総裁講演	-	-
	23:00	米 ミシガン大学消費者マインド	10月 91.8	91.2
10月15日	2:30	米 イエレンFRB議長講演	-	-

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	103.00 - 104.50	1.0950-1.1100	114.00-115.50

【マーケットインプレッション】

昨日の海外市場でのドル/円はジリジリと値を下げる展開。9月中国貿易統計はドル建て輸出が前年比10%減と市場予想を大きく下回り中国経済に対する警戒感が広がった。米新規失業保険申請件数は前週同様に市場予想を上回る良好な結果となり米国雇用市場の底堅さを感じさせ、ドル買いへの好材料となったものの中国経済指標を受けた世界的金利の低下を嫌気した形となりドルは売られた。本日のドル/円は、週末を前に様子見の展開になると予想。米雇用市場の底堅さを示す材料は集まってきており、年内利上げについて市場が織り込み度合いを高める中、FOMCメンバーが言う「国外からの重要な下振れリスク」が今後どのような展開を見せるか海外経済指標の動向に注目して行きたい。本日は中国CPIの発表を予定しており、昨日同様に中国経済の下振れリスクを受けたドル売りには注意したい。

東京	東京時間のドル円相場は104.30レベルでオープン。前日海外時間の流れを引き継ぎドル買い優勢となったことや日経平均株価の堅調推移を背景にドル円は一時104.63まで上昇。買い一巡後は利益確定等による売りが強まりじり安推移となる中、発表された中国9月貿易統計で輸入、輸出ともに前年比での落ち込みが明らかとなるとリスクオフの円買いが進行し、一段とドル円は下落。104.00近辺のストップロスオーダーを巻き込み一時103.56まで下落する展開となった。その後は特段の新規材料のない中、103円台後半での動意に乏しい推移となり 103.75レベルで海外へ渡った。(東京15:30)
ロンドン	ロンドン市場のドル円は103.75レベルでオープンし、目立った材料のない中、方向感に欠ける展開となった。一時104.10まで上昇するも104円台では相応の売り意欲が見られずぐに反落に転じ、103.78レベルにてNYへ渡った。本日のドルは1.2173レベルでオープン後、小幅上昇して1.2211レベルでNYへ渡った。なお、タイのプミポン国王が死去したとの報道に対する主要通貨の反応は限定的となった。
ニューヨーク	ドル円は103.78レベルでNYオープン。東京時間に発表された中国9月貿易統計が低調となったことや、大幅安で寄り付いたダウ平均がマイナス幅を拡大したこと等からリスク回避的な円買いが強まりドル円は一時103.34まで下落。しかし米9月小売売上高、PPIの発表、イエレンFRB議長の講演、米大手銀の第3四半期決算発表等、多数のイベントを明日に控えていることもあり、このレベルでは下げ決った。その後はダウ平均がマイナス幅を縮小したことや、2017年FOMC投票者であるハーカー・フィラデルフィア連銀総裁が「来年は最低2回の利上げが好ましい」と発言したことも材料視され、ドル円は103.70付近まで値を戻し、103.72レベルで海外市場に渡った。一方ユーロドルは1.1038レベルでNYオープン。海外時間からのリスクオフモードや、米長期国債入札前後に米10年債利回りが低下したこともあり、ユーロドルはじり高の推移に1.1058まで上昇し、1.1056レベルで海外市場に渡った。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

担当: 鶴田・森谷